

BIG  
NEWS!!

ECCO減税・大型補助金(200万円)も使える  
国土交通省「長期優良住宅先導事業」に採択!

「ほんとうの200年住宅」

# 長持ち住宅が つくる未来

長期優良住宅  
200年住宅で  
日本の住まいを変える



住宅が、今より長く使えるようになると、われわれの住まい方はどう変わっていくのでしょうか。

これまでの日本では、住宅をつくっては壊し、貴重な資産と資源を浪費して来ました。

少子高齢化、地球温暖化による省CO<sub>2</sub>対策などの環境問題も深刻化しています。

これからの未来を考えると、これまでの考え方を改め、次世代に貴重な資産や資源を継承していかなければなりません。

そのためには、よいものをつくり、大事にながく使うことです。

それが将来の、豊かなくらしの実現にもつながるのではないのでしょうか。

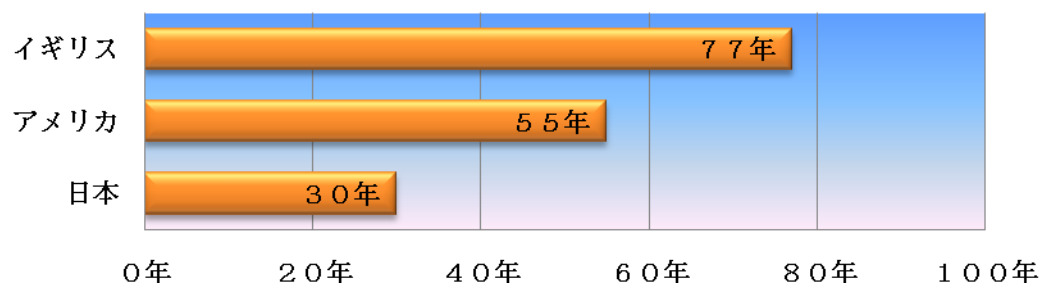
それを実現出来るのは長期優良住宅(200年住宅)です。



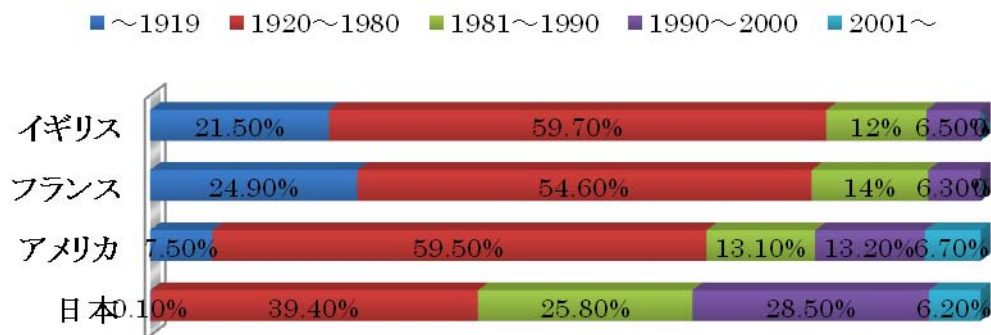
# 日本の住宅は長持ちしない？

日本の住宅の利用期間は平均 30 年

滅失住宅の平均築後年数の国際比較



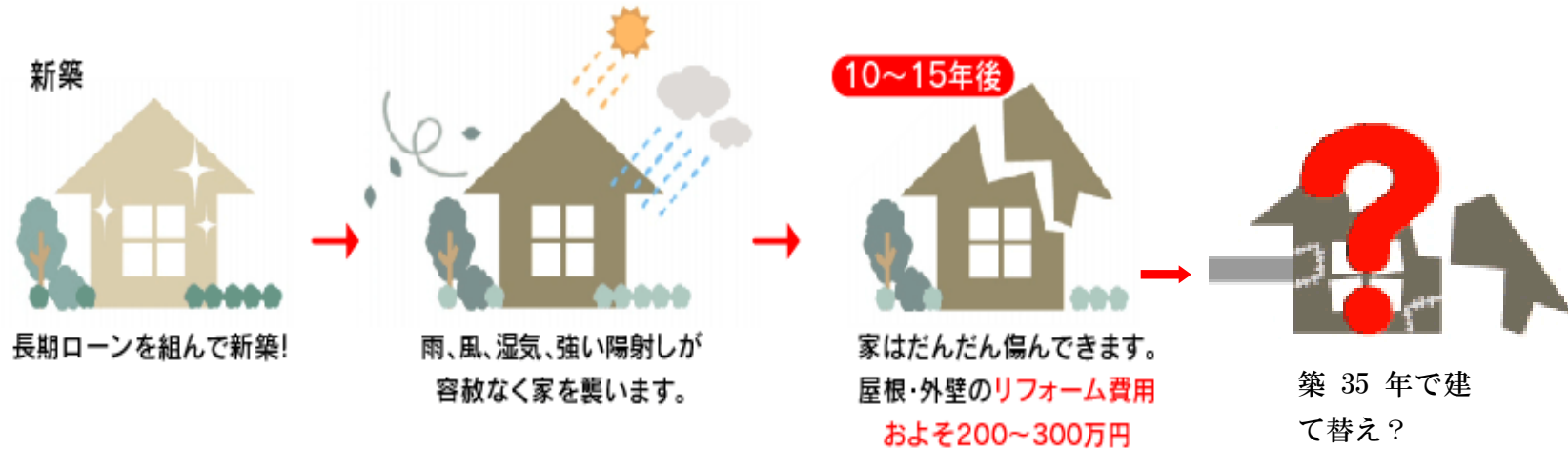
建築年代別住宅ストックの国際比較



日本では、取り壊される住宅平均築後経過年数は約30年と、イギリスの約77年。アメリカの約55年に比べると短くなっています。

また、日本においては、1981年以後に建築された住宅が約6割を占める一方、1950年以前に建設された住宅は5%以下となっています。これに対して、欧米、特にイギリスにおいては、1950年以前に建設された住宅が4割を超えるなど、長期にわたって住宅が活用されています。

# 本当にこれでいいのですか？



新築費用  
3000万

10年ごと外壁リフォーム 200~300万  
30年間2回 400~600万

建て替え費用  
3500万

- 高額住宅ローン 35年を組んで、新築は約30年で資産価値がゼロになる。
- 10年ごとに屋根、外壁のリフォーム工事が200万~300万かかります。
- 30年間2回だと400万~600万かかります。また、子供の成長と共に高額のリフォーム費用が発生します。やっとローンの返済が終わって、家がぼろぼろになり、退職金を全額払って建て替えしなければなりません。

## 長持ちする家、200年住宅なら。



- 家を建てても、高額なリフォーム費用や修繕費が定期的に掛かってしまうこれまでの日本の住宅。
- 本格的な高齢化社会を迎えた日本では、老後も安心出来る暮らし、家づくりを真剣に考える必要があります。
- 長期優良住宅だと、長い年月を経ても資産価値を落とさず、建て替えの必要もありません。レンガの外壁なら、メンテナンス費用もかかりません。もし10年間で200万円得な計算だと、60年間1200万円になります。老後の生活は自分で守るしかありません。冬暖かく、夏涼しい、長持ちする家は高齢化社会の不安を解消出来る家です。

国の補助金は棟数限定です。お問い合わせはお早めに。